サーバのオペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール

この章は、次の項で構成されています。

- オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール方法 （1 ページ）
- KVM コンソール （2 ページ）
- PXE インストール サーバ （3 ページ）
- ホスト イメージ マッピング （5 ページ）

オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール方法

E シリーズ サーバおよびNCEは複数のオペレーティング システムとハイパーバイザをサポートします。インストールされるプラットフォームに関係なく、次のいずれかのツールを使用してサーバにインストールできます。

- KVM コンソール
- PXE インストール サーバ
- ホスト イメージ マッピング

注意 仮想ドライブをマップするには 1 種類だけを使用する必要があります。たとえば、KVM コンソールまたは Host Image Mapping のいずれかを使用します。組み合わせて使用すると、サーバが未定義の状態になります。

KVM コンソール

KVM コンソールは CIMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウスの直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。サーバに物理的に接続された CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブを使用する代わりに、KVM コンソールは仮想メディアを使用します。これは、仮想 CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブにマップされる実際のディスク ドライブまたはディスク イメージ ファイルです。次のいずれでも仮想ドライブにマップできます。

- コンピュータ上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- コンピュータ上のディスク イメージ ファイル（ISO または IMG ファイル）
- コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ

KVM コンソールを使用して、サーバにオペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールし、次の作業を行うことができます。

- 起動中に F2 を押して、BIOS セットアップ メニューにアクセスします。
- 起動中に F8 を押して、CIMC 設定ユーティリティにアクセスします。

（注） CIMC Configuration Utility は EHWIC E シリーズ NCE および NIM E シリーズ NCE には適用されません。

- Cisco UCS M1 および M2 サーバの場合は、ブートアップ中に **Ctrl+H** を押し、WebBIOS にアクセスして RAID を設定します。

  Cisco UCS M3 サーバの場合は、ブートアップ中に **Ctrl+R** を押し、MegaRAID コントローラにアクセスして RAID を設定します。

（注） RAID は EHWIC E シリーズ NCE および NIM E シリーズ NCE ではサポートされていません。これらの SKU では、**Ctrl+H** および **Ctrl+R** は機能しません。

KVM コンソールを起動するための Java 要件

KVM コンソールを起動するためには、システムにリリース 1.6 以降の Java をインストールしておく必要があります。

証明書が Java で取り消しされたために KVM コンソールが起動しない場合は、Java の設定を変更する必要があります。次の手順を実行します。

1. Java コントロール パネルにアクセスします。

2. [Advanced] タブをクリックします。
3. [Perform certificate revocation on] で、[Do not check (not recommended)] ラジオ ボタンを選択します。詳細については、http://www.java.com/en/download/help/revocation_options.xmlを参照してください。

PXE インストール サーバ

Preboot Execution Environment（PXE）インストール サーバを使用すると、クライアントはリモートの場所からオペレーティング システムまたはハイパーバイザをブートおよびインストールできます。この方法を使用するには、PXE環境が設定されていて、VLAN（通常は専用のプロビジョニング VLAN）で使用できるようになっている必要があります。さらに、サーバがネットワークからブートするように設定されている必要があります。サーバは、ブートすると、PXE 要求をネットワーク経由で送信します。PXE インストール サーバは、この要求に応答確認し、サーバにオペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールするイベントのシーケンスを開始します。

PXE サーバは、インストール ディスク、ディスク イメージ、またはスクリプトを使用して、オペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールできます。また、独自のディスク イメージを使用して、プラットフォーム、追加コンポーネント、またはアプリケーションをインストールすることもできます。

（注） PXEインストールは、多数のサーバにプラットフォームをインストールする場合に効率のよい方法です。ただし、この方法を使用するには PXE 環境をセットアップする必要があることを考えると、他のインストール方法を使用する方が簡単な場合があります。

PXEインストールサーバを使用したオペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール

始める前に

VLAN 経由でサーバに到達できることを確認します。

手順

ステップ 1 ブート順を [PXE] に設定します。
ステップ 2 サーバをリブートします。

注意 共有 LOM インターフェイスを使用して CIMC にアクセスしている場合は、サーバのリブート プロセス中に CIMC GUI を使用しないでください。CIMC GUI を使用すると、イーサネット ポートに設定されていた IP アドレスがブート エージェントによってオーバーライドされるため、PXE のインストール中に GUI の接続が解除されます。

VLAN で PXE インストール サーバを使用できる場合は、サーバが再起動するとインストール プロセスが開始します。通常、PXE インストールは自動化されており、追加のユーザ入力を必要としません。残りのインストール プロセスについては、インストールしているオペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストレーション ガイドを参照してください。

次のタスク

インストールが完了したら、LAN のブート順を元の設定にリセットします。

カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード

手順

ステップ 1 https://my.vmware.com/web/vmware/login にアクセスします。

VMware ログイン ページが表示されます。

ステップ 2 自分の VMware クレデンシャルを入力し、[Log In] をクリックします。

VMware のアカウントがない場合は、[Register] をクリックして無料アカウントを作成します。

ステップ 3 [Downloads] をクリックし、ドロップダウン リストから [All Products] を選択します。

ステップ 4 必要に応じて、次のいずれかを実行します。

- VMware vSphere Hypervisor 5.1 イメージをダウンロードするには、[Search] フィールドで **ESXi-5.1.0-799733-custom-Cisco-2.1.0.3.iso** と入力し、[Search] アイコンをクリックします。[Search Results] から [VMware vSphere] > [Drivers & Tools] > [Cisco Custom Image for ESXi 5.1.0 GA Install CD] をクリックし、[Download] をクリックします。
- VMware vSphere Hypervisor 5.5 イメージをダウンロードするには、[Search] フィールドで **ESXi-5.5.0-1331820-custom-Cisco-5.5.0.1.iso** と入力し、[Search] アイコンをクリックします。[Search Results] から [VMware vSphere] > [Drivers & Tools] > [CISCO Custom Image for ESXi 5.5.0 GA Install CD] をクリックし、[Download] をクリックします。

次のタスク

VMware vSpere Hypervisor のイメージをインストールします。

ホスト イメージ マッピング

ホストイメージマッピング機能を使用すると、ホストイメージのダウンロード、マッピング、マッピング解除、または削除を行うことができます。Microsoft Windows、Linux、VMware などのホスト イメージを、リモート FTP または HTTP サーバから CIMC 内部リポジトリにダウンロードしてから、E シリーズ サーバまたはNCE内の USB コントローラの仮想ドライブにマップします。イメージをマップした後は、イメージをマウントした仮想ドライブが最初のブートデバイスになるようにブート順序を設定してから、サーバをリブートします。ホストイメージはファイル拡張子として .iso または .img がなければなりません。

また、ホスト イメージ マッピング機能により、診断イメージをダウンロードし、マウントできます。診断イメージのファイル拡張子は必ず .diag になります。

ホスト イメージのマッピング

始める前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。
- 適切なサードパーティからホスト イメージ ファイルを取得します。

（注） VMware vSphere Hypervisor ではカスタマイズしたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード （4 ページ）を参照してください。

（注） アップデートがすでに処理中であるときにイメージアップデートを開始すると、どちらのアップデートも失敗します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ 2 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。

ステップ 3 [Host Image Mapping] ページで、[Add Image] をクリックします。

[Add New Mapping] ダイアログボックスが表示されます。次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Server Type] ドロップダウン リスト	イメージが配置されているリモート サーバのタイプ。次のいずれかになります。 • **FTP** • **FTPS** • **HTTP** • **HTTPS** （注） 選択したリモート サーバによって、表示されるフィールドが変わります。
[Server IP Address] フィールド	リモート FTP または HTTP サーバの IP アドレス。
[File Path] フィールド	リモート FTP または HTTP サーバのパスおよびファイル名。 パスワードには、最大 80 文字を使用できます。 • ホスト イメージをインストールする場合、そのイメージのファイル拡張子は必ず .iso または .img になります。 • 診断イメージをインストールする場合、そのイメージのファイル拡張子は必ず .diag になります。
[Username] フィールド	リモート サーバのユーザ名。 ユーザ名は 1～20 文字の範囲で指定します。 （注） ユーザ名を設定しない場合は、ユーザ名として **anonymous** を入力し、パスワードとして任意の文字を入力します。
[Password] フィールド	ユーザ名のパスワード。 パスワードは 1～20 文字の範囲で指定します。 （注） ユーザ名を設定しない場合は、ユーザ名として **anonymous** を入力し、パスワードとして任意の文字を入力します。

ステップ 4 [Download] をクリックします。

[Host Image Mapping] ページが開きます。[Host Image Mapping Status] 領域で、イメージ ダウンロードのステータスを表示できます。イメージが正常にダウンロードされ、処理された後、ページがリフレッシュされます。ページがリフレッシュされた後、新しいイメージが [Image Information] 領域に表示されます。

ステップ 5 [Image Information] 領域で、マップするイメージを選択し、[Map Selected Image] をクリックします。

イメージがマップされ、USB コントローラの仮想ドライブにマウントされます。仮想ドライブには、次のいずれかを使用できます。

- HDD：ハード ディスク ドライブ
- FDD：フロッピー ディスク ドライブ
- CD/DVD：ブート可能 CD-ROM または DVD ドライブ

ステップ 6 イメージがマウントされている仮想ドライブが最初のブートデバイスになるように、ブート順を設定します。

ヒント イメージがどの仮想ドライブにマウントされているか確認するには、[Host Image Mapping] ページの [Host Image Update Status] 領域を参照してください。

ステップ 7 サーバをリブートします。

ステップ 8 イメージにアンサーファイルが含まれている場合、オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストールは自動化され、イメージがインストールされます。そうでない場合は、インストール ウィザードが表示されます。ウィザードの手順に従って、イメージをインストールします。

ステップ 9 オペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールした後にディスク ドライブが表示されない場合は、ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストール手順については、該当するオペレーティング システムまたはハイパーバイザのマニュアルを参照してください。

次のタスク

- インストールが完了したら、仮想メディアのブート順を元の設定にリセットします。

ホスト イメージのマッピング解除

始める前に

admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ 2 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。

ステップ 3 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。

ステップ 4 [Unmap Image] をクリックします。

USB コントローラの仮想ドライブから、マップされたイメージがアンマウントされます。

ホスト イメージの削除

始める前に

admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。
ステップ 2 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。
ステップ 3 [Current Mappings Information] 領域で、削除するイメージを選択します。
ステップ 4 [Delete Selected Image] をクリックします。

イメージが SD カードから削除されます。